

番号	3	令和3年度公共事業事後評価調書			担当課名[農地整備課]	
事業名	経営体育成基盤整備事業			事業主体	静岡県	
箇所名	中郷			市町名	三島市	
事業概要						
事業の目的・必要性	<p>本地区は、市街化区域に接する平坦地で農業生産活動が行われており、その恵まれた立地条件から、消費地に安全で新鮮な農産物を迅速に供給できる環境にある。しかしながら、都市化による混住化や農業従事者の高齢化が課題であった。</p> <p>このため、農業の生産性向上のため大規模な水田の区画整理や用排分離水路等の整備を行うとともに、農地の利用集積による担い手農家の規模拡大を進めたことにより、効率的かつ安定的な営農が図られた。</p>					
受益面積	77.2ha	採択年度	平成8年度	完了年度	当初	平成22年度
					実績	平成27年度
事業量	区画整理 面積24.1ha、用水路 延長1.63km、排水路 延長1.58km、農道 延長2.3km					
施設の利用状況や被害軽減効果 等						
前回	事業費 1,719百万円	事業期間 平成8年度～平成27年度	施設の利用状況や被害軽減効果 等		B/C : 1.11 EIRR : -	
事後	事業費 1,810百万円	事業期間 平成8年度～平成27年度	施設の利用状況や被害軽減効果 等 食料の安定供給の確保に関する効果、農村の振興に関する効果 年総効果額：166,772千円			
差	事業費 91百万円増 (5.2%増)	事業期間 計画どおり	施設の利用状況や被害軽減効果 等 食料の安定供給の確保に関する効果、農村の振興に関する効果 年総効果額：63,868千円(62.1%増)			
<p>○事業費<事業費増高の理由></p> <ul style="list-style-type: none"> 農道整備において、調査の結果、一部の路線で軟弱な路床があったため、路床を入れ替える事業費を追加し、車両の安全な通行機能を確保した。 <p>○施設の利用状況や被害軽減効果 等</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了したほ場では、給水栓による水管理、新設された農道や大区画化によって作業の効率化が図られ、担い手農家への農地集積が進みつつある。 作物の単価変動増による。 						
事業の効果の発現状況						
<p><食料の安定供給の確保に関する効果></p> <ul style="list-style-type: none"> 区画整理によって農業機械の利用効率の向上や、農作業の省力化により農作業時間が短縮した。 営農経費節減効果：(労働時間)水 稲 895時間/ha → 124時間/ha (86%減) (労働時間)葉菜類(トマト・イチゴ) 1,990時間/ha → 1,375時間/ha (31%減) <p><農業の持続的発展に関する効果、農村の振興に関する効果></p> <ul style="list-style-type: none"> 排水路整備によって、洪水被害の軽減が図られる。 災害防止効果(農業関係資産)：284,718千円/年(軽減) (一般資産)：1,083,137千円/年(軽減) 						
事業により整備された施設の管理状況						
<ul style="list-style-type: none"> 造成された用水路等は、中郷土地改良区により適切に維持管理されている。 ふじのくに美農里プロジェクト活動組織である「安久水と緑の会」「梅名環境保全推進会」が草刈りや簡単な補修・修繕を行っており、適切な維持管理を行っている。 						

事業実施による環境の変化

- (1) 農業生産力の強化について
- ・ 用水路の整備により、用水不足の解消と計画的な水管理が可能となり、水稻の生産性が向上するとともに、トマトやイチゴ等が栽培され、多様な作物による営農が広がっている。
 - ・ 区画整理や用水路等の整備により、営農が効率化したことから規模拡大が可能となり、担い手農家3名の集積面積は、事業実施前2.6haからR年度末現在26.1haまで規模拡大した。
 - ・ 経営規模の拡大に伴い、田植えや稲刈り等の作業の集中を避けるとともに、「あいちのかおり」、「ヒノヒカリ」も栽培されている。
 - ・ 富士山の麓に位置する本地区のイメージを活かして、地域ブランド米「三島中郷 水のめぐみ」のブランド化に取り組みはじめた。
- (2) 農村生活環境の変化について
- ・ 「安久水と緑の会」により、農業用施設の管理に加え稲刈りを終えた田を耕作し、レンゲ草や菜の花、ワイルドフラワーの種を蒔き、広大なお花畑を造り、地元子供たちが花摘みを楽しみ、4月には「安久お花畑音楽会」が開催される。
 - ・ 「梅名環境保全推進会」は、自治会や中学生も参加して農道沿いに花木を植栽し、豊かな農村環境づくりを進めている。
 - ・ 都市部の貴重な田園地帯として、地域内、世代間の交流が深まっている。

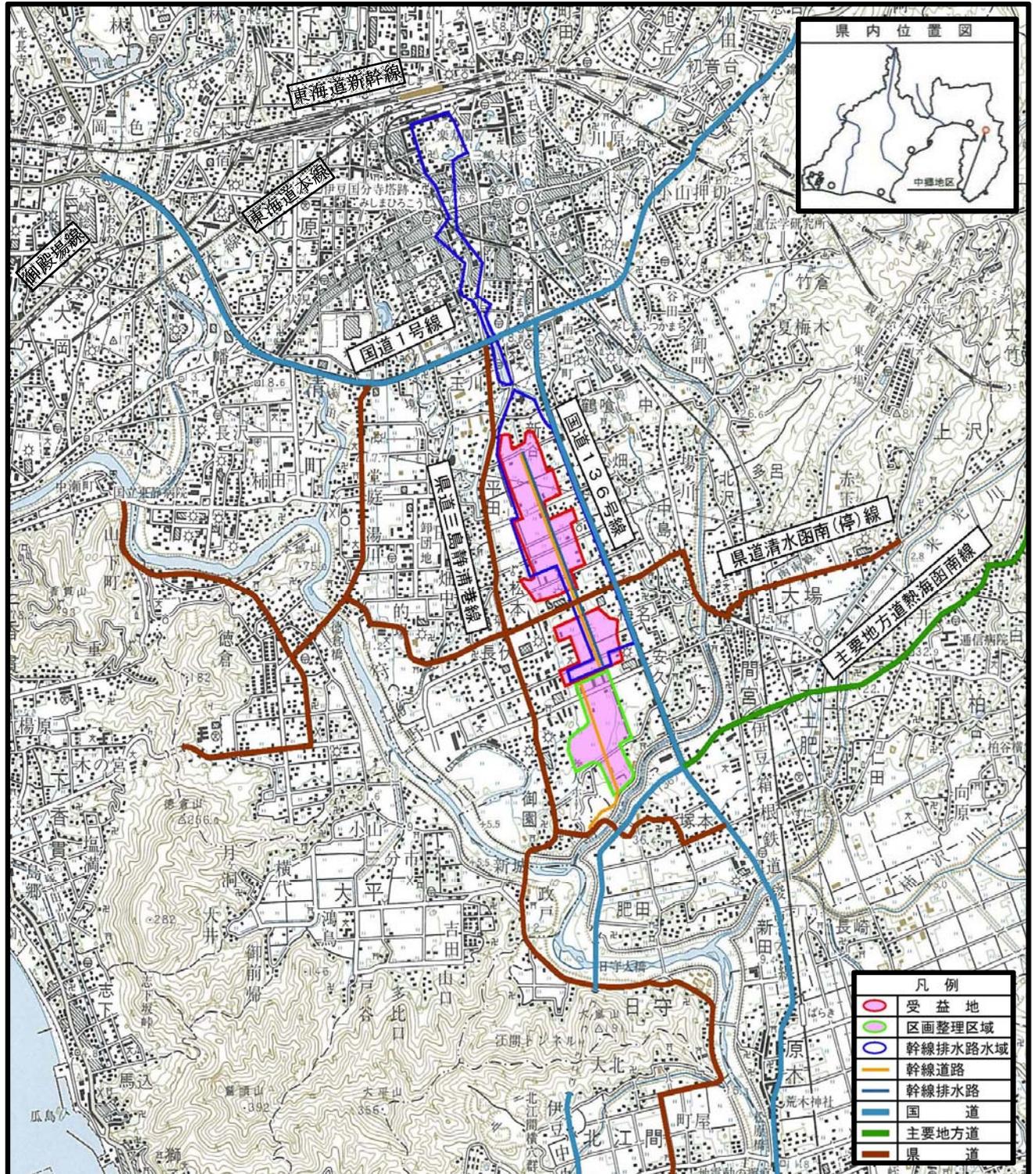
社会経済情勢等の変化

- (1) 地域社会の動向
- ・ 三島市の農家総戸数は平成17年の1,199戸から平成27年には900戸と25%の減となる一方、経営面積が3.0haを超える農家戸数は12戸から21戸へ増となっている。
 - ・ 水田の大区画化や集積が進み、水稻経営の更なる大規模化に向け、水田水管理システム（水田ICT）の実証実験を行い、給水栓の開閉を自動で行うことによる水管理の省力化を検証した。システムを設置したほ場は、未設置に比べ、水管理日数が13日から4日となり69%省力化が図られた。（農地計画課調べ）
- (2) 地域経済の動向
- ・ 三島市の農業生産額※は、平成26年の46億円から平成30年の47億円に約2%増加している。本地区で栽培している米と野菜は、それぞれ4%、9%の伸び率を示している。（農業生産額：農林水産省「市町村別農業産出額」平成26年～）

対応方針（案）

- (1) 評価結果
- ・ 効果は十分に発現されており、改善措置の必要はない。
 - ・ 水田の区画整備により生産量、品質が向上するとともに、営農労力の節減が図られ、地区内及び周辺地域の中心的経営体への農地集積、規模拡大が進み、農業産出額の増に寄与している。
- (2) 今後の課題等
- ・ 農業者の減少と高齢化が予想される中で、地域の農業・農地を守り、発展するために、人・農地プランの作成を通じ、農地中間管理事業による担い手農家への農地集積を加速化する必要がある。
 - ・ 担い手農家の営農計画に即した暗渠排水や水田ICT等の省力化技術を導入し、トマト等の高収益作物の作付けを推進するほか、多様な営農を行う企業的経営体との連携により、更なる農業生産性の向上を図る必要がある。
- (3) 同種事業への反映等
- ・ 本事業により、営農労力の節減を図り、地区内の中心的経営体の農地集積が促進され、規模拡大が進んだ。今後は、水田の区画整理により営農の効率化を図る地域において、本地区をモデルとしたほ場の大区画化や用水路の整備（パイプライン化）、更には水田ICT等の省力化技術を導入し、効率的で効果的な営農による農業生産性の向上を図っていく。

位置图



●事業効果の発現状況

<地区全景> 市街化区域に接する農地

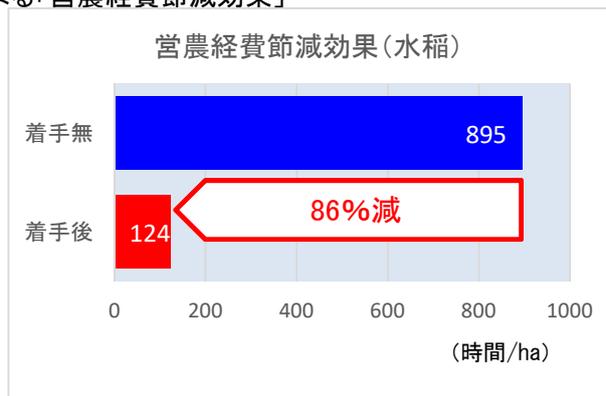


<食料の安定供給の確保に関する効果>

区画整理に伴う農業機械の利用効率の向上等による「営農経費節減効果」



整形されたほ場



大型機械による
収穫状況



農道を通行する
大型機械

●事業実施による環境の変化

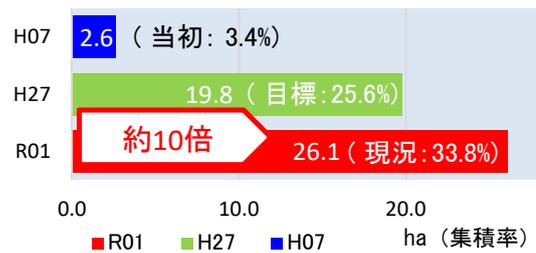
<農業生産力の強化>

営農が効率化したことから、担い手農家の規模拡大が可能となった



整形されたほ場:代掻きの様子

担い手農家の地区内経営面積



<集積率>

- ・地区全体: 33.8%
- 区画整理区域内: 56.3% (13.6ha)

<農村生活環境の変化について>

ふじのくに美農里プロジェクトの活動を通じ、地域内、世代間の交流が深まる



さつまいものつるさし体験の様子
(安久水と緑の会)



ワイルドフラワー開花時の
「安久お花畑音楽会」



農道沿い植栽の様子
(梅名環境保全推進会)

●社会経済情勢等の変化

<地域社会の動向>

水田の大区画化や集積が進み、水稻経営の更なる大規模化に向け水管理の省力化に向けた取組

○中郷地区の取組

- R2から現地実証を実施
- ・3経営体
- 自動給水栓4基
- センサー7基



自動給水栓

○水管理システム(水田ICT)導入による効果

- 1 水管理労力の縮減
 - ・給水栓の開閉が自動もしくは遠隔で操作が可能
- 2 用水量の節減や効率的利用
 - ・設定水位にて自動開閉のため、無効給水の防止
 - ・給水時間設定による地域における需要ピークカット

水管理時間の縮減

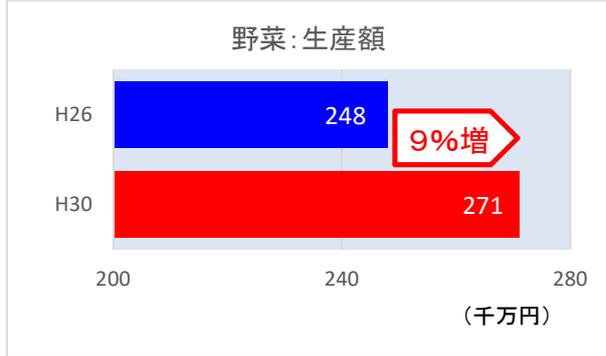
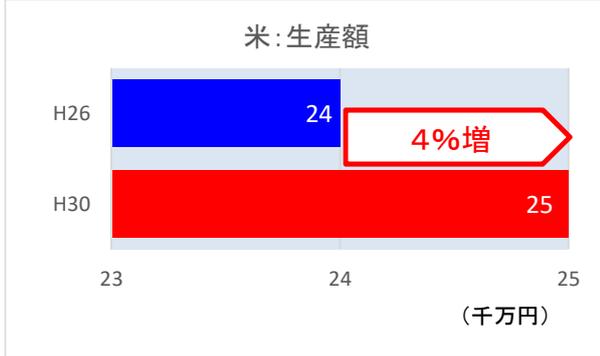


経営体Tの30日間の水管理作業の比較

●社会経済情勢等の変化

<地域経済の動向>

米と野菜の農業生産額は、平成26年から平成30年に、それぞれ4%、9%の伸び率



出典：農林水産省「市町村別農業算出額」

●その他

<整備前後の写真>



整備前(区画・用水路・農道)

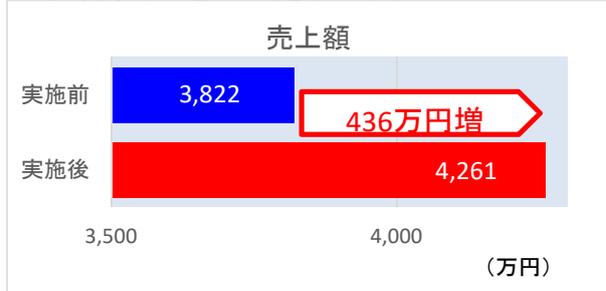


整備後(区画・用水路・農道)

<地域ブランド米「三島中郷 水のめぐみ」>



<代表農家さんの売り上げ額>



- ・コシヒカリを栽培(実施前:57.0ha→実施後:55.4ha)
 - ・区画整理や農道整備により農業機械の利用効率向上
- ※三島市役所聞き取り

<維持管理状況>



排水路・農道の草刈りの様子